

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果における 校内分析から見た本校児童の様子

帯広市立豊成小学校 校長 岸梅 哲郎

1 実施日

令和4年4月19日

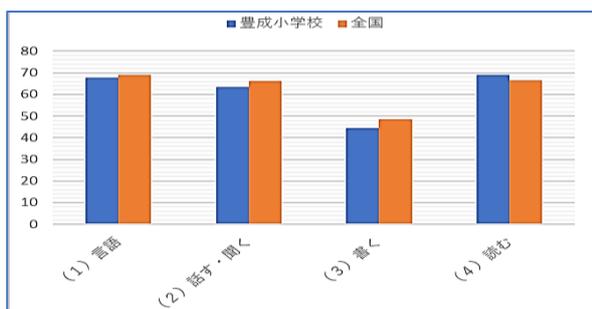
2 児童の実態

(令和4年度全国学力・学習状況調査結果より)

(1) 各教科の概要 (○:成果、△:分析、●:課題)

① 国語科

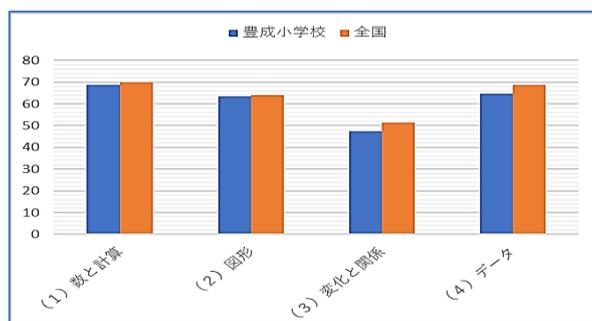
- 学習指導要領の内容「思考力、判断力、表現力等」の「C 読むこと」の設問で、全国の平均正答率を上回っています。
- 問題形式が記述式の設問において全国の平均正答率を上回っています。
- △ 記述に対する意欲が高いことがうかがえ、この結果は、日ごろから、国語科のみならず各教科等の学習活動において、目的や課題に応じた具体的な表現の仕方を丁寧に指導してきた成果が表れています。
- 学習指導要領の内容「知識及び技能」の全般、また「思考力・判断力・表現力等」の「A 話すこと・聞くこと」及び「B 書くこと」の設問において全国を下回っており、日常の授業改善はもとより、読書活動の充実、朝読書、朝学習、宿題、日常の繰り返し学習、丁寧な個への指導の充実を図っていく必要があります。



② 算数科

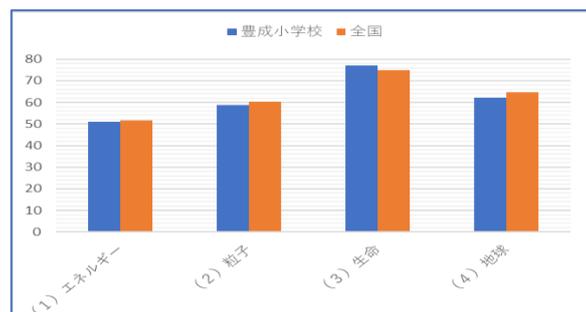
- 国語科同様に、問題形式が記述式の設問において全国の平均正答率を上回っています。
- △ 記述に対する意欲が高いことがうかがえ、この結果は、日ごろから、算数科のみならず各教科等の学習活動において、目的や課題に応じた具体的な表現の仕方を丁寧に指導してきた成果が表れています。
- 学習指導要領の全領域の設問において全国の平均正答率を下回っており、言葉や式、図、表、グラフなど用いて考える場面と、それを説明する場面を学習の中にしっかりと位置付けていく必要があります。

△ 昨年度、全国平均正答率を上回っていた「B 図形」において、今年度はわずかなら全国平均正答率を下回ったことから、実物投影機などのICT機器を積極的に活用し、視覚的に理解しやすいよう工夫する必要があります。



③ 理科

- 国語科、算数科同様に、問題形式が記述式の設問において全国の平均正答率を上回っています。
- △ 記述に対する意欲が高いことがうかがえ、この結果は、日ごろから、理科のみならず、各教科等の学習活動において、目的や課題に応じた具体的な表現の仕方を丁寧に指導してきた成果が表れています。
- 学習指導要領の区分・領域の「生命」を柱とする領域において全国の平均正答率を上回っています。
- △ 観察や実験などにおいて、それぞれの気付きを明確にし、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす場面を意図的に設定してきたことが成果として表れています。
- 学習指導要領の区分・領域の「エネルギー」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域及び「地球」を柱とする領域において全国の平均正答率を下回っており、観察、実験などで得た結果について分析して、解釈し、より妥当な考えをつくりだすことができるように、その都度学習を進めていく必要があります。



(2) 児童質問紙より

① よい傾向が見られた項目（全国と比べて）

- ・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。
- ・地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。
- ・将来の夢や目標をもっている。
- ・学校からの課題で分からないことがあったとき、友達や先生に聞いたり、自分で調べたりする子が多い。（そのままにしない。）
- ・理科の勉強が好きだ。
- ・理科の授業の内容はよく分かる。
- ・国語の勉強は大切だと思う。
- ・国語の授業で学習したことは、将来、役に立つと思う。

② 改善を図っていく必要がある項目（全国と比べて）

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- ・普段（月曜日～金曜日）、テレビゲーム（コンピュータ、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を一日当たり4時間以上使っている。
- ・普段（月曜日～金曜日）、携帯電やスマートフォンでSNSや動画視聴などを一日当たり4時間以上使っている。
- ・学校に行くのは楽しい。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・学校の授業時間以外に普段（月曜日～金曜日）、1日あたりに勉強する時間が1時間以上である。
- ・放課後や週末の過ごし方が家でテレビ、動画、ゲーム、SNSであることが多い。

《考察》

- 物事を自分ごととして捉え、行動することができています。また、相手を意識しながら学校生活を過ごすことができています。
- 国語科については、国語への興味・関心が高いです。
- キャリア教育などを教育活動全般で進めており、将来のこと、将来に向けて今すべきこと、物怖じせず、目標に向かって挑戦することなど、指導を重ねた成果と考えられます。
- 算数科については、役立つもの、大切なものとは捉えているが「わからない」「できない」と考えている児童が多く見られるので、「わかる授業」の展開を重視していく必要があります。また、昨年に引き続き、習熟度別・少人数指導を進め、何ができるようになったのか振り返りを大切にしたいわかる授業も取り組む必要があります。

3 全国学力・学習状況調査の結果を受けて

- (1) 学習意欲を高め、社会で生きる実践的な力を身に付けるために、地域（文教ゾーン）と連携しながら身近な課題に基づいた体験的・問題解決的な学習を重視した教科指導やキャリア教育の充実に引き続き努めます。
- (2) 基礎的・基本的内容を確実に定着させるため、習熟度別・少人数指導やICTの効果的な活用等、指導方法の改善を図り、目標・指導・評価の一体化を重視した授業改善を行います。
- (3) 主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」及び「何のために学ぶか」も重視して授業を改善します。

4 改善方策

- (1) 今回及び今後の各種調査結果の分析を基に、課題と成果の共有化を常に図りながら日常の指導に生かすとともに、解き直しを大切にし、確実に全員が理解することを目指します。また、児童の実態に応じて、再テストを行い理解の定着を目指します。
 - ・全国学力・学習状況調査、全学年標準学力調査全学年チャレンジテスト
 - ・Webシステムフォロー・サポート問題
 - ・単元テスト 等
- (2) 全校共通の取組を推進し、全体の底上げを目指します。教室環境、学習規律の徹底、校内研究とリンクした学習過程（単元の指導計画に基づき課題とまとめを明示した一単位時間の授業づくり、授業の終末の振り返りの重視）、生徒指導の充実、ICTの効果的な活用、ノート指導（まとめる・書く活動の重視）等
- (3) 校内研究での検証を生かした授業改善に努めます。
 - ・日常の授業の充実
 - ・お互いの授業を見合い、より効果的な指導の充実
- (4) 習熟度別・少人数指導を徹底した授業づくりを行います。
 - ・個に応じた指導の充実
 - ・すべての児童にとって分かる喜び、できた喜びが実感できる授業の創造
- (5) 望ましい生活習慣や学習習慣を確立するための家庭への啓発の継続化を図ります。
 - ・家庭との情報の「共有」を意識した取組の推進
 - ・家庭との連携をより深めていくための手立ての工夫
 - ・家庭での過ごし方について、家族で振り返ることの推進